

子のやる気 親の気づき



〇〇67

40年も前の話です。

確か私は小1のころには家業のガソリンスタンドで手伝いをし、駄賃をもらっていました。学年が進み、新聞配達のアルバイトも始めました。小6の夏休みは、町内会のラジオリレーと野球部の朝練と、両立どころか三

羨と褒美

立ののための段取りに苦心していた気がします。

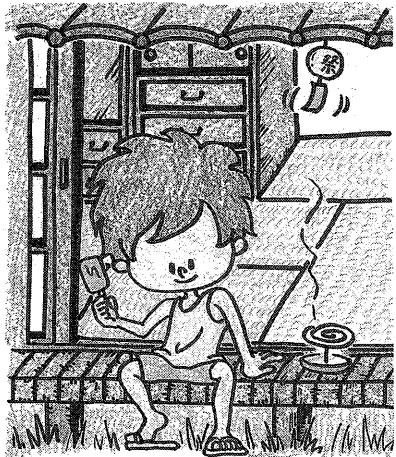
八戸市では、中2対象の「グッジョブ」という職場体験学習が毎年行われています。今年で12年目になり、ゆとり教育世代の子どもの「生きる力」を地域で育むという取り組みとして定着しています。先日「塾長、グッジョブ終わりました」と元気に教えてくれた男子がいました。「どこに行った？」と

競い合い育まれる意欲

人間関係の中で切磋琢磨

と褒美」を巧みに実践していました。私は「注している素晴らしいお手本だと思いました。塾の7月は、夏期講習の問い合わせが増えます。今年は個別ですか、個室ですかという類の電話が続きました。先日もあるお母様が「周りの人がいると気が散るようで…」とおっしゃいました。私は「集中力は注意力でまた一本。午後になる少し離れた倉庫まで移動し、手伝いをするのですが、そこにいるおじさんが、あいさつがすばらしい、よし！ジュース飲めと。僕も早く社会に出て活躍したいです」と微笑みにぎわい、特に音が大き

ました。一般に「餌で釣る」のは卑しいと考えがちですが、この職場は人間関係の構築を土台に、意欲喚起の柱である「羨(しつつけ)」



by yoriko

でも、他人を観察しながら切磋琢磨(せつさたくま)できる人間関係の中に送り出したいものです。褒められ、叱られ、段取りを身につけ、必ずや困難を乗り越えて行くでしょう。学ぶ意欲は、学習の場で競い合いながら育まれます。子が自分の負け心と闘い、邪心に打ち勝つまで、見守りながら成長を待ちたいものです。

(畑山篤志学塾塾長)

毎年7月の文具展(ITS)で、新しい筆や新しい新製合戦を熱々のイチ授業でニック(ンパス)コンパス学4年が作ってほ強かったの小沢値

使い 当初は 語る。 が、ある ツプを付 円が掛け した。実 いてみる れいな円 チック製 と、針の

「くる キヤッ

教育

親も知らないプロ 子どもとケータイ

11

東海地方の公立中3年のぶってるんで、良かったらカヨは、シルバーチェーン メール下さい」などとゲスリペンダントテレノスノック プやメレボを書き入じ「ナ

に



に感いやち 校白方